

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)2月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

ローヌ県警察では空き巣防犯対策で3カ月間 CRS 保安機動隊を動員してパトロール強化

2013年は2012年と比べて空き巣被害件数が26,2%増加しているため、ローヌ県では CRS (Compagnie Républicaine de Sécurité) フランス共和国保安機動隊約40人を3カ月間動員して、県警や地元警察と協力しあって防犯のためにパトロールを行う。2月11日からすでに始まったこの防犯強化では、リヨン市第7区、Villeurbanne 市や Ecully 市など空き巣件数の多い地区では、警察官が2人組体制により優先的に徒歩で回り、「警官の姿を見せることによる、抑止的そして積極的な介入」を目的としたパトロールを行い、空き巣の防犯に努める。

ネット個人売買サイト

インターネット上で、不動産から中古車、携帯電話、パソコン、楽器、衣服、家具、ペット、サービスなど、ほぼ何でも売買できるサイト le Boncoin は、個人でも無料で気軽に売買できるために、最近使用者が増加している人気サイトだが、盗難品が売りに出されていたり、支払時にトラブルが発生したりと問題も多いため、利用する場合には細心の注意が必要である。今月は、中古のベンツ車を購入した男性が、数か月後ベンツ販売店に車の定期点検に行ったところ、この車がドイツで盗難車として登録されていたことが判明したとのこと。また、偽小切手や、偽口座への振込指示、偽札での支払などもあり得るため、取引の際には、銀行小切手などを利用してトラブルを避けるようにしたい。また、問題が発生した場合には、必ず警察へ届出ること。

リヨン市警察緊急通報用電話番号「17」

警察の中でも警察救助課 POLICE-SECOURS(PS)はもっとも忙しい部署で、緊急通報「17番」にかかってくる電話通報は2012年に比べても増加しており、リヨン警察では2013年には405,000件(平均一時間46件)に上る通報があり、その内20%の通報事件に対して警察が現場介入している。援助、行方不明、家庭内暴力、各種事故、盗難空き巣、死体発見などその現状は現場に行ってみないとわからない。またそれ以外の通報は、情報通報や問い合わせの電話とのこと。リヨン近郊では、常に約110名の警察官が配置されてパトロールや緊急介入な

どを行っている。昨年一年で、リヨンの警察はローヌ県内で 32,000 人を逮捕し、12,000 人の身柄を拘束したが、一日平均で 33 人が身柄を拘束されている計算となる。また 2013 年には、553 人の警察が負傷して 5 人に 1 人の警察官が怪我を負っているとのこと。

リヨン市救急車通報用電話番号「15」

救急車を呼ぶ際の電話番号は「15」で Service d'aide médicale urgente (SAMU)につながる。ローヌ県の SAMU69 では医師 53 名、看護師 39 名、救急車運転手 48 名を含む、合計 200 名が働く。Edouard Herriot 病院内部にある SAMU では、年 365 日 24 時間体制で、電話をするとまず医療管制員が対応し、医師や看護師、救急車運転手などの発動が決定され、医師による電話アシスタンスに引き継がれる。救急性が認められない軽症の場合（全体の 44%）には、その電話は SAMU 電話センターの医師などに繋がれ、助言や一般医の往診、SOS Médecins の往診、救急病棟の案内などが行われる。また、緊急な場合には、消防救急隊の発動や蘇生術専門医の派遣等もこのセンターで決定されている。平均、平日 1000 件、休日 1500 件、流行感染期間 2000 件の問い合わせが入っている。

2. 邦人の被害事例

今月は特になし

3. 地区別 治安情報集計結果

2014 年 2 月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN 県	ISERE 県	LOIRE 県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)			1		1		1	1		3	2	1		1			11
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	3	3	2	1	6		4		3	11		3	3		1		40
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)		3	8	1	2	6	6	1	5	15		3	6	2	4	2	64
知能犯 (詐欺、横領等)			2		1					1						1	5
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)		2	3	1	1		3	10	1	6		2		1	2	1	33
合計	3	8	16	3	11	6	14	12	9	36	2	9	9	4	7	4	153

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions
グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors
グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

2月1日早朝、リヨン市第2区にあるブティック Auguste et Cocotte に何者かが侵入し、パソコンとカバンが盗み出された。近所住民の通報により、リヨン市第7区に在住の40歳の男が逮捕され、この男はパソコンを盗んだことは認めたが、この男が店に現れた時にはすでにドアがこじ開けられていたために侵入したと証言し、カバンは盗んでいないと供述している。

2月1日から2日にかけて、リヨン市第3区、6区、7区にある DOMINO'S PIZZA 3店に何者かが侵入し、現金やレストランチケットなどが盗まれた。

2月3日午前4時半頃、リヨン市第6区 Vitton 通りのブティック Serge Blanco に覆面をした4人組の男が入り口を破壊して侵入しようとしたが入れなかったため、そのすぐ近くにあるブティック Legend Hugo Boss に侵入し、店内にあった洋服や靴を大量に盗み出していった。被害額に関しては現在調査中。

2月4日午前5時半頃、リヨン市第9区 Docks 通りあるレストラン L'Ouest Express 区に3人の空き巣が侵入した。その時間にすでに内部にはレストランの店員が1人いて、侵入する為に入り口が破壊された際にその音に気づき、この店員はすぐに店内に隠れて警察に通報した。侵入した犯人達は店内にあった金庫をそのまま運びだし自分たちの車に乗せて逃走したが、直後に、駆けつけた警察に捕まえられた。運転していたのは19歳のリヨン市5区在住の若者で、それ以外の2人の犯人は金庫を車の中に置いたまま走って逃亡した。そのうちの1人は30分後につかまり、運転していた男の兄だった。

2月5日午後7時頃、リヨン市第9区 Dumas 通りある建物の一階のアパートの窓際で、外を眺めていた高齢の女性の前を通った若者2人連れが、いきなり女性の首にかかっていた金のネックレスを引っ張って奪い取り、そのまま逃亡した。

2月5日夜、リヨン市第7区 Croix-Barret 通りに駐車してあった7台の車をこじ開けて盗難を働いた18歳と20歳の男2人組が逮捕された。彼らは車の中にあったカーナビやサングラスなどを盗んでいた。

2月6日午後10時半頃、Villeurbanne 市 Roger Salengro 通りで28歳のアルバニア人男が逮捕された。警察は、偽ナンバープレートをつけていたアウディ車を発見して追跡したところ、この車は先月アン県で盗まれた車だったことが判明し、この男がさらにもう一台のアウディ車を運転して出てきたところ、この車もロワール県で盗まれた車だったために、盗難車隠匿罪で逮捕された。この男はヨーロッパでも指名手配になっていた。

2月6日午前2時半頃、リヨン市第7区 Berthelot 通りでパトロール中の警察が怪しい2人の若者を尋問したところ、彼らのものではない小切手帳と現金を所持していた。それらは Vienne 通りに

ある老夫婦の自宅に空き巣に入って盗み出してきたところだったものと判明したために、その場で逮捕された。

2月6日夜、ドローム県 Tain-l'Hermitage 市で、帰宅して自宅の門を開けようとした女性が、車から降りた直後に、28歳の男にその車を奪い盗られ、犯人は逃走した。警察による長距離追跡の後、警察車両に追い込まれて逮捕された。この男はこの日ポケットの中に刃物をもっており無免許で、すでに車の盗難や暴行、覚醒剤取引などの前科があり、数日前にも同様の罪で捕まっていたばかりだった。3月31日に今回の罪で裁判所に召喚される。

2月8日午後10時頃、イゼール県 Charvieu-Chavagneux 市のごみ収集車センターのトラックから、ガソリンを盗みとっていた3人組の男が、Crémieu 市警察に現行犯で逮捕された。数か月前から同様の盗難事件が24件連続で発生していたが、同一犯の可能性が高いとのこと。

2月8日午後1時頃、リヨン市第6区 Ney 通りで、第6区長助役の CROIZIER 女史が暴力を伴うひったくりの被害にあった。この犯人は走って逃げたが、近くにいた警察がカバンを持って走る男を見かけ、すぐに追跡し、カバンを捨てるところを発見したために逮捕された。18歳の若者で、この3日前に同様の罪で有罪判決を受けたところだった。

2月8日午後5時半頃、リヨン市第2区 Edouard Herriot 通りにあるキッチン用品店から包丁セットなど、数百ユーロ相当の商品を万引きして店から出てきたコソボ人とユーゴスラビア人の2人組の男が逮捕された。

2月8日午後8時近く、リヨン市第2区にある FNAC 店で、カメラやDVDなど約640€相当の商品を万引きしてそのまま逃げようとした24歳のグルジア人女が逮捕された。

2月8日午後11時頃、Caluire 市 Verdun 通りでパトロール警察の姿を見て逃走しようとしたルーマニア人男2人組が逮捕された。この男達が持っていた大きなカバンの中には、宝石や時計、アンティーク小装飾品などが入っていたために警察がその出所を調べたところ、近所のガレージから盗まれた物品だという事が判明した。

2月8日から10日にかけて、Villeurbanne 市 Roger Salengro 通りでは入り口を破壊して空き巣にはいるケースの犯罪が多発した。看護師事務所から不動産業者、煙草販売店などが被害にあった。すべて、入り口をパールでこじ開けられているとの事。

2月9日夜中、リヨン市第6区 Vendôme 通りの地下駐車場から2人組の男が出てきたところ、パトロール警察の姿を見て持っていた荷物を捨てようとした為尋問をうけ、荷物の中からは空き巣に入るための道具一式や、盗んだばかりのハンドバック、1月末に空き巣の被害にあった9区のレストランの名前のはいった小切手などが見つかったために逮捕された。この18歳と25歳の男達はすでに同様の空き巣や覚醒剤関連で前科のある9区在住の男達で、家宅捜査などが続けられている。

2月9日午前4時半頃、Villeurbanne 市 Emile Zola 通りでパトロールしていた警察を見かけて持っていたカバンを捨てて逃亡しようとした男が逮捕された。この男のカバンの中には様々なものが入っており、男の近くには鍵とスターターの破壊された車があり、この車内にも他にいくつかのカバンがあった。調査の結果、この車は同市内で盗まれた盗難車で、カバンの中にあった物は、リヨン市第6区で被害に遭った空き巣事件の盗難品だということが判明した。

2月9日真夜中、リヨン市第7区 Grande rue de la Guillotière 通りの曲がり角で、駐輪してあった自転車のチェーン鍵を切って自転車を盗もうとした19歳のホームレスの男が逮捕された。

2月10日正午、Villeurbanne 市 Viret 通りで18歳の若い男が逮捕された。この男は自分の母親の友人女性が自宅に来た際に、女性の鍵の束を気付かれないように盗み出し、過去1ヶ月間に3回、女性の留守中に侵入して物品などを盗み出していた。

2月11日朝、Saint-Priest 市 Champ du Pont 工業地帯にあるレストランの従業員が、店のお金を横領した罪で逮捕された。この2月末には定年退職する予定の59歳の男性は前科も全くないが、レストラン内の金庫にあった現金35000€を盗み出した容疑で、家宅捜査されたところ27000€の現金が見つかったとのこと。

2月11日、アン県 Ambérieu 市 Résistance 通りの建物の中で仕事をしていた18歳の男が、郵便箱の上にアパートの鍵があるのを見つけ、その鍵を使って勝手にアパートに侵入した。中からオーディオ製品やカバンなどを抱えて出てくるときに、アパートの持ち主とばったり出会い、男は走って逃げようとしたが、持ち主の叫び声を聞いた近所の高校生が男を抑えて捕まえた。

2月11日、警察が取り調べて追跡していた28歳の男が Vaulx-en-Velin 市 Carré de Soie ショッピングセンターで車から降りてきたところを逮捕された。所持していたカバンの中には化粧品が70点以上入っていたが、これらの出所を証明できなかった。この男は Lentilly 市の化粧品会社で清掃をしている47歳の男と関係があり、この清掃業の男が昨年10月から週に一度盗難をはじめ、その商品を28歳の男に売却していたことが明らかになった。家宅捜査などにより、盗難商品約300点が発見された。想定被害額は数千ユーロに及ぶ。

2月12日夜中、Décines 市の建設中 Grand Stade の工事現場のバンガロー事務所に、何者かが侵入した。内部からトラクターなどの鍵や道具、また小切手や現金などが奪われた。現在取り調べ中で、被害額などもはっきりわかっていない。

2月12日朝、リヨン市第3区在住の40代の札付き麻薬中毒者が、窃盗容疑で自宅にて逮捕された。昨年の11月から鍵のシリンダーを取り外す空き巣事件10件の容疑がこの男にかかっており、監視カメラの映像や、被害者宅に2度残っていたDNA痕跡などから今回の逮捕となった。この男は、昨年の11月22日に学生寮で空き巣4件、未遂1件をはたらいていた。

1月中旬に、アン県 Collonges 市の園芸家の庭から、乗用型動力機付芝刈機（相当額2000€）が何者かによって盗まれた。持ち主は、この泥棒が芝刈機の刃などの部品（重量43kg）を盗み忘れているのに気が付き、きっと、泥棒が戻ってくるものと想像してGPS追跡装置を刃と部品に装着しておいたところ、思った通りに、2月7日夜に泥棒が刃と部品を盗みに戻ってきた。持ち主は翌日警察に通報し、このGPS追跡装置のお蔭で、警察がオート・サヴォア県 Valleiry 市に駐車してある車の中に隠してある刃と部品を見つけ、車の持ち主であり刃と部品を売却しようとしていた26歳の男と、盗んだ24歳の男を逮捕した。2人とも前科を持つ男達だが、乗用型芝刈機は盗んでいないと自供している。2月10日に裁判所で判決が下り、盗んだ男は8か月禁固刑、売却しようとして隠匿した男は3か月禁固刑となり、2人ともに賠償金350€の支払いが命じられた。

2月14日午前3時頃、リヨン市第9区 Sergent Michel Berthet 通りでパトロールをしていた警察に、18歳から21歳の3人組の男が逮捕された。彼らは、学生寮の入り口ドアをこじ開けたばか

りで、警察に見つかった時に、所持していた手袋とバールを捨てようとしていたため、身柄拘束となった。

2月15日午後7時頃、リヨン市第3区 Part-Dieu ショッピングセンター内のFNACで、ベビーカーの中にパソコン(1200€相当)を隠して店から去ろうとしていた男が、店員に見つかり警察に逮捕された。

2月16日、リヨン市第7区 Saxe-Gambetta 地下鉄駅で、この日午後地下鉄の中で18歳の女性から携帯電話を奪い取ったルーマニア国籍の15歳と12歳の少年たちが逮捕された。

2月16日、リヨン市第2区のTilsit 河岸で、14歳の少年2人組が、21歳のグルノーブル出身の若い女性から携帯電話を暴力的に奪い取ったが、逃げる際に自分の携帯電話と財布を落としていった。その後、この2人の少年は奪った携帯電話を使って、自分の落とした携帯電話に電話し、被害者の女性に自分の携帯電話と交換で返還することを交渉した。待ち合わせ場所に現れた2人の若者は、その場で待っていた警察に逮捕され、身柄拘束された。

2月16日夜、リヨン市第5区 la garenne 通りの自宅に週末の外出から戻った会社経営者の男性が、自宅が空き巣の被害にあっているのを発見した。何者かが入り口を破壊して侵入し、現金や自家用車 Audi Q3 を盗んで立ち去った様子。この家にはアラームがついており反応していたが、警備会社では異常事態を感知しなかったとのこと。

2月17日午前0時半頃、リヨン市第8区 Frères-Lumière 通りで駐車してある車を盗もうとし、パトロールしていた警察を見て、所持していた穿孔機やドライバー、車を発進させるための電気機械などを捨てようとした27歳の男が逮捕された。

2月17日午前2時頃、リヨン市第3区 Dauphiné 通りにある中小企業の建物に壁をよじ登って侵入し、内部の物品を盗み出した13歳から16歳の少年3人組を、パトロール中の警察が現行犯で逮捕した。

2月18日午後7時頃、リヨン市第3区 Jules Verne 通りにある建物のガレージで空き巣をはたらいた、3人の未成年者を含む6人の若者が逮捕された。彼らは、2つのガレージを破壊して、シャンペンを何本も盗み出していた。

2月18日、ロワール県 St-Etienne 在住の14歳から16歳の未成年3人組が、Firminy 市で盗み出した車を運転して Vaulx-en-Velin 市まで来て、午前3時頃同市内で車に放火しているところを、私服でパトロールしていた警察に逮捕された。

2月23日真夜中、リヨン市第3区 Lacassagne 大通り118番の建物のカーヴ倉庫が盗難の被害にあった。この建物はセキュリティーがしっかりしていたが、インターフォンで建物内部に入り、そのあと建物の鍵を破壊した。カーヴに降りる鍵付エレベーターや鍵のついた二重ドアなどは破壊されていなかったが、カーヴ中にどうにかして侵入した様子で、カーヴの木のドアのちょうつがいを外し、何件ものカーヴから、テレビやオーディオ、パソコンやワインなどを盗んでいった。

2月24日午後3時頃、Villeurbanne 市 Poudrette 通りで仕事をしていた2人の女性測定技師が、ナンバープレートを隠した白い車から降りてきた5人の男達に突き飛ばされ、男達は経緯儀など測定器材を奪い取って逃走した。数分後、通報を受けた警察が Bron 市で5人の乗った車を尋問し、

身柄拘束した。目撃者が犯人だと証言しているが、5人は否認している。測定器材は発見されていない。

2月25日、Villeurbanne市 Louis Guérin 通りのアパートの一階庭側の窓を壊して侵入している男2人組をみかけた目撃者が、警察「17」に通報した。Villeurbanne市警察がすぐに現場に駆けつけて、アパートの中にいた2人の男達を現行犯で逮捕した。

② 粗暴犯罪事件

2月1日真夜中、リヨン市第9区 Duchère 安全監視優先地域にある Victor Schoelcher 中学校に、何者かが侵入して校内の教室にあるコンピューターや備品など様々な物品を破壊した。現在警察で調査している。

2月1日、Villeurbanne市 Galline 通り在住の30歳の男が、同居している18歳の若い女性に対して暴力をふるい、全治10日の怪我を負わせたために逮捕された。

2月2日、リヨン市第9区に在住の46歳の男が、同居する28歳で妊娠している女性に対して暴力を振るい、全治5日間の怪我を負わせたために、4日裁判所に召喚された。

2月5日午前2時頃、ロワール県 St-Etienne 市内で、トラム路線を走行していた車を警察が止めようとしたところ逃走、赤信号を交差点4つで無視して Givors 方面への高速道路に進んだ。追跡していた警察が直ちにナンバープレート調べたところ、盗難届の出ている車であることが判明、3台のパトカーが約30キロにわたって追跡し、犯人の車はパトカーに何度も接触したのち、中央分離帯に乗り上げてつかまった。追突事故のため、9名の警察官と犯人自身の合計10名が軽傷を負った。この犯人は、前科のある21歳の男で、盗難車を無免許で運転し、また許容量以上の酒気(0.65g)を帯びていた。

2月6日夜中、Villeurbanne市地下鉄 Laurent Bonnevey 駅で、乗車券検査をしていた TCL 職員が乗車券をもっていなかった24歳の男に刃物で脅迫されたため、この男は逮捕された。

2月7日午前4時頃、Décines市 Berlioz 通りの一軒家に、3人の覆面をして武器をもった男達が窓を壊して侵入し、家の持ち主である25歳の男性をめった打ちにして逃亡した。男性は病院に運ばれたが、調査によると覚醒剤の密売に絡んだ金銭問題の仕返しの可能性が高いとの事。

2月7日午後2時半頃、Villeurbanne市 Tolstoï 通りで15歳の少年が2人組の男達から暴行を受け、腹部を強く殴られてカバンを奪い取られそうになった。通報を受けた警察はすぐに現場に駆けつけ、殴った疑いのある、現場付近にいた27歳のホームレス男性を逮捕した。

2月9日午後9時頃、リヨン市第7区のホテル Ibis 内で、同伴女性を刃物で脅迫し殴っている男が逮捕された。このホームレスの男はあまりにも多量に酒気を帯びていたため身柄拘束とならず病院に運ばれた。

2月10日、Villeurbanne市 Flachet 通りで14歳の少女を地面に突き飛ばして、少女のもっていた携帯電話を奪って逃げた容疑のある15歳の少年が、11日の朝逮捕された。本人は否定しているが、少女が犯人だと証言している。

2月11日午後10時頃、ごみ箱の放火のために呼ばれた消防隊が Vénissieux市 Lénine 大通りに到着したところ、若者たちがキャノン筒に爆竹を詰めて消防隊にむかって投げかけた。この日の朝、

この Minguette 地区では警察による麻薬密売人の取締が行われ、その際には付近に興奮した若者たちが寄り集まり大騒ぎとなっていたため、この夜の通報は若者達の呼び寄せ罠だったのではないかと警察は考えている。約40人の若者達を落ち着かせるために50名余りの警察官が動員されて、爆竹を持っていた主犯とみられる15歳と16歳の少年2人が逮捕された。その翌日には20人程の警察官が Lénine 大通り辺りでパトロールをおこない、保安機動隊のワゴン車に対して投石があったが、警察は建物のホールに隠してあった大麻樹脂棒をいくつか押収した。その後、18日には、この爆竹灯火事件の犯人と疑われる18歳から23歳の男3人が逮捕され、その内の1人の男の自宅からは、大麻210g、大麻樹脂75gや現金5000€などが押収された。

2月11日午後6時頃、リヨン市第2区 Suchet 通りで、64歳の妻と17歳の孫娘を殴った71歳の男が逮捕された。女性は全治4日の怪我を負った。

2月12日頃、25歳のリヨン在住の男性が、所有していた iPhone を売るために、ネット売買サイト« le bon coin »に掲載したところ購入希望者から連絡があり、約束の場所リヨン市第3区 Part-Dieu のショッピングセンター横で待ち合わせをした。現れた購入希望者2人組は、男性を刃物で脅して、そのまま支払わずに iPhone を奪って逃走した。警察では連絡先などからこの2人の身元を見つけ、17歳の未成年少年を含む2人が身柄拘束となった。

2月12日午後5時頃、リヨン市第9区を走っていた89番の市バスの中で、席の取り合いで口喧嘩となり、67歳と34歳の母娘2人の顔を殴って侮辱した19歳の若い男が、バス停 Centre social-La Sauvegarde で逮捕された。この34歳の女性は妊娠3ヶ月で、2歳の息子をベビーカーで同伴していた。

2月12日午後、Caluire et Cuire 市 Lassigne 広場でパトロールしていた警察官が、19歳の男を尋問し、身分証明書を見せるように指示したところ、この若者は突然警察官の頭部を殴った。同僚の警察が助けに入ろうとしたところ、今度この男の双子の弟から暴行を受けた。弟は後ろから殴り掛かり頭部を激しく殴った。この2人の兄弟はその場で逮捕され翌々日裁判所に召喚された。

2月12日午後6時半頃、Rillieux-la-Pape 市の高校で16歳の少年が警察につかまった。この少年は高校内で同じ16歳の少年と喧嘩をはじめ、証言によるとその少年が床に倒れているにもかかわらず殴り続けていたとの事。被害者の少年は全治3日、暴行した少年は5月に裁判所に召喚されることとなった。

2月13日夜中、リヨン市第7区 Marcel Mérieux 通りで、25歳から36歳の5人組のリヨン在住の男達が逮捕された。サッカーの試合のあと、相手チームのファンに対して殴る蹴るの暴行をし、催涙ガスを撒いたために、この被害者達は暴行から免れるため、近所のピザレストランに避難した。被害者の1人は病院に運ばれたとの事。

2月13日、夜リヨン市第1区 Saint Vincent 河岸の自宅にもどった男性が、おそらく後を付けてきた数人の何者かに激しく殴られ、自宅内にあったパソコンや宝石などを奪い取られた。その後、通報をうけた警察が Sainte-Catherine 通りで怪しい2人を見つけて尋問したところ、奪い取った物品を所持していた。それ以外の犯人達は逃亡したとのこと。

2月13日午後7時近く、Villeurbanne 市 Genas 通りで20歳と21歳の兄弟が逮捕された。この2人は、この少し前に、18歳の女性とその同伴男性を殴りつけ、その際に女性が落とした携帯電話を奪って車で逃走したが、運転免許証を持っていなかった。この2人はすぐにつかまり、拘留された。

2月14日午後9時頃、リヨン市第1区 Fernand Rey 広場で16歳と17歳の2人の少年が刃物で刺されて倒れているところを、通報をうけた消防隊が保護した。警察が駆けつけたところ、2人の少年は当初詳細を話そうとしなかったが、後日の取り調べによると、当日 Saint-Jean 地区で10人程の極右集団と、この2人の少年を含む極左グループ5人組が対立し言い争いとなったあと、後を付けられた2人は逃げたが、極右集団が刃物を取り出して2人の背中を刃物で刺した。2人は逃げ出して Fernand Rey 広場までたどり着いたとのこと。その後警察が調査を進めたところ、街の監視カメラの映像にこの争いの映像が残っており、そのために事件の主犯達の身元が判明したため、極右団体の5人が逮捕され身柄拘束されている。取り調べたところ、この二つのグループが対決したのは今回が初めてではないとの事。

2月14日午後6時頃、Vaulx-en Velin 市で中学校から帰宅する13歳の少女が、毎日乗るバスをバス停で待っていたところ、ニット帽をかぶった男が、手にポマードを塗ったり手袋をつけたり怪しい行動をとっていた。バスがなかなか来ないので、少女は歩いて進んだところ、この男が後ろから後をついてきて、少女の腕をひっぱり Marcel Audin 通りの陰に連れて行き、ベルトで縛って暴行しようとした。少女があまりに抵抗して騒いだために、この男は諦め、少女を撫でて逃亡した。警察では、少女の衣服に残っている DNA を鑑定しているとのこと。

2月15日、リヨン市第3区 Augagneur 河岸に駐輪してあった自転車を盗んだばかりの双子の男兄弟が、パトロールしていた警察をみかけて逃走したために、Wilson 橋付近で逮捕された。逮捕された時には、この2人は警察官やパトカーに唾をはきかけて暴れたため、身柄拘束となった。

2月16日午前2時半頃、Décines-Charpieu 市 Victor Hugo 通りで、駐車してある車を破壊している若者たちがいるという通報が警察に入ったため、警察がすぐに駆けつけて、この17歳から18歳の男3人組を逮捕し、身柄拘束となった。

2月16日午前2時頃、Villeurbanne 市において、スケートボードで帰宅しようとしていた16歳の少年が、刃物を持った男に止められ脅されて、持っていた iPod を出すように言われた。この少年は通りかかった車を停めて逃げることに成功したため、その足ですぐに警察に駆け込んだ。Villeurbanne 市の警察で被害届をだしていたところ、警察の前を先ほどの犯人が偶然歩いている姿を見かけた少年は、すぐに警察官に訴え、警察官が警察前でこの20歳の刃物を持った男を捕まえて逮捕した。

2月17日、32歳の Villeurbanne 市在住の男が、自分の27歳の妹を監禁した疑いのため自宅で逮捕された。この男は、兄妹の喧嘩のはて、刃物で妹を脅して殴りつけて全治20日の怪我を負わせ、また妹の友人女性2人も殴ったとのこと。

2月17日、リヨン市第1区にある自宅で、同棲している24歳の女性を殴り倒し、全治5日の怪我を負わせた25歳の男が逮捕された。警察は男の自宅アパート内で大麻草4鉢と、大麻300g近くを発見した。

2月18日午前1時頃、Vénissieux 市 Viviani 通りで26歳の女が逮捕された。この女は数時間前に、無免許で酒気を帯びて車を運転して事故を起こし、Edouard Herriot 病院に運ばれたが、その病院で、看護師などの財布や車を盗み出して脱出し、自宅に帰ろうとしていた。また逮捕された際に、この女は警察に向かって唾を吐きかけた。

2月18日午前0時半ごろ、リヨン市第5区 Mourget 通りで、28歳から38歳の男3人組が、口論から喧嘩となって21歳の若い男性に対して暴行をはたらき、刃物で男性の顔に傷をつけた。仲裁に入ろうとした男性の母親も手に怪我をした。3人組は警察に逮捕され身柄拘束となった。

2月18日午後3時頃、Villeurbanne 市 Broesses 地区で、ヘルメットなしに四輪バギー(ATV)に乗っていた15歳の少年が、尋問のために止めようとした警察の指示に逆らって逃亡した。この直後、バランスを失ったこの車両は、駐まっていた車に衝突して、運転手の少年が逮捕された、この700cm³の四輪バギーにはナンバープレートがついておらず、調査した結果、先月 Tarare 市のガレージ空き巣の際に盗まれていたものだと判明、少年はネット売買サイト leboncoin.fr にて1200€の値段で見知らぬ人から購入したと供述している。この少年は未成年裁判所に召喚される。

2月20日夜、リヨン市第4区 Croix-Rousse 地区にあるブラスリーで、酒に酔った男が席に着き、注文をしようとしたところ、態度が怪しいために店員が立ち退くように言ったところ、怒った男は銃をとりだして発砲すると店員たちを脅迫した。この男はその後逃亡したが、la Croix-Rousse 広場にいたところを警察に逮捕され、身柄拘束となった。

2月23日真夜中、リヨン市第2区 Gailleton 河岸にある煙草販売店に、2人の男が入って来たところ、店主はこの男達が以前万引きなどをしていたことを覚えていたため販売を拒絶した。すると1人の男が怒ってカウンターの後ろに入り込み、喧嘩となった。その後、男が殴る蹴るなど暴力をふるい、店主は頭部に怪我を負って早朝救急病院に行くはめとなったが、現金などの盗難はなかったとのこと。最近、煙草販売店の強盗事件が頻繁に発生しており、この店では、2012年にも銃を持った強盗が入ったことがあるため、店主はおびえている。

2月23日、リヨン市第9区に在住の20歳の若い男が、怒って自分の母親に椅子を投げつけて全治3日の怪我を負わせ、また3歳の弟も足で蹴り上げて打撲を負わせた。警察で拘束処分となり、後日裁判所に召喚されている。

2月24日早朝、Vaulx-en-Velin 市で交通検問が行われていた際、無免許、無保険、酒気を帯びての運転で検問から逃走して、結局 Pointcarré 橋で車のコントロールを失い警察に逮捕された21歳の男が、25日、禁固10か月の有罪判決を受けた。

2月24日午後11時頃、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅付近にて、携帯電話を奪い取られた男性が、電話を取り返そうと犯人を追いかけて口論となったところ、この男性は犯人から刃物で背中を2度刺され重傷を負ったため病院に運ばれたが、犯人は逃走してしまったとのこと。

③ 凶悪犯罪事件

2月3日、リヨン市第3区 Part-Dieu 通りにあるミニスーパーSPARに、男が店内に入ってから武器をもって店員を脅し、レジのお金数百ユーロを奪い取って逃亡した。

2月7日正午頃、Villeurbanne 市 Léon Blum 通りにある煙草販売店に銃をもって強盗に入った17歳の少年が逮捕された。パーカーで頭部を隠し、銃を使って店主と客を脅し、400€を奪って逃走したこの少年は、すぐに通報されて、服装など詳細が伝わっていたこともあり、10分後に近くの tram 駅で電車を待っているところ警察につかまった。この少年が持っていた銃は、プラスチック製の偽物だった。

2月10日午後7時頃、Sainte-Foy lès Lyon 市 Aqueducs-de-Beunant 通りにあるガソリンスタンドに、銃を持ち覆面をした2人組の強盗が侵入し、閉店しようとしていた経営者を銃で脅し、店内にあった数日分の収入金約数百ユーロを奪って逃走した。現在犯人を捜査中。

2月10日、イゼール県の Chasse-sur-Rhône 市で、事業を一緒にしていた共同経営者の2人が、その事業の不動産の売却金の受け取りに関して言争いとなり、49歳の男がもう1人の男性を刃物で頭部や手、大腿部や腹部などを何か所も切り付けて全治1か月の怪我を負わせた。怪我をした男性が警察に駆けつけて殺人未遂だと届け出ていたが、午後遅くなってから犯人の男はリヨン市内の警察に自首した。

2月12日午前2時半頃、イゼール県 Crémieu 市内にある武器製造販売店 Leydier に3人組の強盗が入った。この男達は店前に車を止め、入り口金網と扉を破壊して内部に侵入、アラームが鳴っているにもかかわらず、店内のショーケースを割って中の銃器を取り出して、車に乗って逃走した。30分後に、付近の Saint-Marcel-Bel-Accueil 市で乗り捨てられた車が炎上しているのが発見されたが、犯人達はここで他の車に乗り換えて逃走したと見られている。盗まれた銃器は9丁、マグナム、マニューリンなどのピストル拳銃だが、セキュリティーのために部品の一部が取り外されていたとのこと。

2月13日午前6時前、Tassin-la-Demi-Lune 市 Alai 地区にあるディスカウントスーパーDIAに3人組の強盗が入った。1人は銃を持ち、店の前にいた2人の従業員を脅して店を開けさせ、店内の事務所にある小さな金庫と現金を奪って車で逃走したとのこと。被害総額は約200€で、ほんの5分間におこった事件だった。

2月14日午前9時頃、リヨン市第8区 Marius Berliet 通りにある薬局に、マフラーで顔を隠した男が1人侵入し、刃物で薬局職員を脅迫してレジの現金を奪い、Bachut 方面へ走って逃げて行った。

2月14日午後8時頃、リヨン市第3区 Guillotière 地区にある小さな食料品店に、顔をセーターのタートルネックで隠した男が女性客の後ろから店内に忍び込んで、銃で店主を脅した。レジの現金を出すように男が要求し、すでに一度強盗にあった経験のある店主は、犯人に落ち着くように説得しながら現金を渡した。犯人が現金を渡されて一瞬の隙を見せた瞬間に、店主は男が持っていた銃を奪い取ったため、犯人が逃走したが、店主とその妻もその後を追いかけた。2人は犯人を Marseille 通りの辺りで見失ったが、目撃者の証言などで、警察では翌日の午後27歳の犯人を見つけ出して逮捕した。奪い取られた2000€のうち、100€程しかすでに残っていなかったらしく、犯人が持っていた銃は偽物だったことが判明したが、警察ではこの店主夫婦に、今後は危険な行為は避けるように助言した。

2月17日午後8時半頃、Caluire et Cuire 市 Pierre Brunier 通りにあるディスカウントスーパーLIDLに、覆面をした2人組の強盗が閉店時間まで待ち伏せし、ごみを出しに来た店員を持っていった銃で脅し、店内に入って金庫にある現金を出させた。この店では日中に何度も金庫の現金を外部に送っているために、盗まれた金額は少額だったとのこと。犯人達はその後走って逃亡した。

2月19日午前7時、Moins 市 éponyme 商店街にある煙草プレス販売店に、覆面をした3人組の男達が銃を持って強盗にはいり、クラブで店主の肩と脛をなぐって脅し、現金を奪い盗って逃走した。その時店内にいた2人の客は外に脱出することができたため、近くの店に飛び込み警察に通報したとのこと。

2月19日、アン県 Lapeyrouse 村で、43歳の男が自宅で44歳の妻を刃物で刺して殺し、自分も自殺しようとしているところを、警察に保護された。男の母親が電話したために事件を知り警察に通報したために発覚した。妻を殺した原因などは分かっていないが、怪我をしていた男はヘリコプターで病院に運ばれた。

2月21日、ロワール県 Rive-de-Gier 市内にあるスーパーPetit Casinoに3・4人組の男達が侵入し、中に1人でいたスーパーの責任者の胸部を殴って暴行し、レジの中にあった現金などを奪って逃亡した。

④ 知能犯罪事件

2月5日、ロワール県 Roanne 市の22歳の郵便局見習い職員が、銀行から個人宅へ送られた小切手帳を郵便物から盗み出した容疑で逮捕された。昨年の6月から8月にかけて、小切手の不当引き落としに関しての警察への届け出が3件でしており、調査したところ、これらの小切手がすべて郵送された3通の小切手帳のものだと判明したため、配送係のこの男が容疑者として浮かび上がった。この男は、23枚の小切手を使用し、買い物をしたり、自分の口座に入金をした後すぐ現金化したりするなどしていた。被害額は12000€相当とのこと。5月27日に裁判所に召喚される。

2月5日、アン県で、自分の滞在許可書を同じ国出身の男に月300€で貸していたセネガル人の男が執行猶予付き5か月禁固の罪となった。この男は、不法滞在している同郷の友人がフランスに滞在して仕事ができるようにとこの話をもちかけ、友人はアン県の Vonnas 市にある有名レストラン Georges Blanc で皿洗いをしていた。こちらの男は執行猶予付き3か月禁固の罪となった。

2月7日、リヨン市第5区の la Caisse d'Epargne 銀行で働く33歳の副支店長が、過去数年にわたって、高齢者客が持っているほとんど動きのない口座や、死亡した人物の遺産相続手続き前の口座等、十数件の口座を操作して、約143800€を自分の懐にいていた男が逮捕された。被害者の家族が、口座の心当たりのない動きに気付いて銀行に連絡したために発覚したもので、この男はすでに銀行を懲戒免職となっている。

2月15日夜、リヨン環状線をパトロールしていた警察が、制限速度を超えて走る車(Citroën DS 3)を見かけたために、環状線から降りたところで運転手を止めて尋問をした。運転免許証や車両証明書など一見問題がないようだったが、警察官は何か怪しいと感じたために、エンジンにあるシリアルナンバーを見たところ、この部分がグラインダーで研削してあることを発見した。科学捜査によりこの車はフランス北部で昨年8月に盗難にあっていた車であることが判明した。Citroën DS 3は昨年の盗難車ベスト9となっているとのこと。

2月25日、リヨン市第2区 Carnot 広場の子供の遊び場の横で、違法に手巻き煙草を売り捌いていた52歳のコソボ難民が逮捕された。近所の住民から苦情の届け出がでていたために、昨年の5月から捜査がはじまり、この男が月に2回ほどルクセンブルグに出向いて20-25kgの煙草を買い占め、車のトランクに詰めて持ち帰り、自宅のガレージに保管していた。昨年合計約600kgを売り捌き30000€の儲けを上げていたらしい。広場での取引は、まず売買人たちの交渉があり、そのあと男が近くに駐車してある車の中に商品を取りにいったり引き渡すという形で、17€で購入した煙草を、30€で売り捌いており、その噂はリヨンの市内だけでなく、St-Etienne 市からも客が訪れていたとの事。

⑤ その他

2月2日午前1時頃、イゼール県 la Verpillière 市 la Bourbre 運河近くでパトロールしていた警察が、ワゴン車に乗っていた22歳と27歳の2人組の男を尋問したところ、このうちの1人が、イタリア製のカラシニコフ銃の複製であるカラシ銃を所持していた。この銃は、射撃競技などに使用する銃と同様、購入や所有には特別許可が必要だが、この男は骨董市で購入したと供述し、いずれの許可証も持っていなかった。静かな場所で試し撃ちするためにこの場所に来ていたという Villeurbanne 市在住のこの2人は家宅捜査の後釈放されたが、4月に法廷に召喚されている。

2月4日午前、Villeurbanne 市 Primat 通りの旧工業オフィスビルを数か月前から占拠していた不法居住のルーマニア出身のロマ人109人が、動員警察官約60人によって立ち退かせられた。子供のいる家族約55名には他の居住施設への移動が紹介されたとのこと。この建物はこの不法居住によって壁など破壊され、電気線や水道管、洗面台などもすべて外して転売されていたとのこと。

2月8日午後、Villeurbanne 市 Paul Krüger 通りで、挙動不審の男をパトロール中の警察が尋問したところ、この男は大麻樹脂棒80gを所持していたために家宅捜査がおこなわれたその結果、自宅からは大麻が1.5kg、大麻樹脂1kg、梱包用具や袋そして現金1000€が発見された。

2月9日、リヨン市第9区 Vaise 駅付近でパトロールしていた9区の警察が、20歳から33歳の3人組の男達をコントロールし、彼ら的大麻・覚醒剤密売網を摘発した。建物の共有部分のダクト部分に隠してあった大麻樹脂993gを発見し、密売人の自宅からは、23gの大麻樹脂や覚醒剤、現金1000€、電子量りや会計ノートなどが発見された。

2月10日、ロワール県 Montbrison 市で、数か月前から警察が調査を進めていた大麻密売網の主犯と、共犯の Rive-de-Gier 在住の2人の男が逮捕された。身柄拘束で取り調べられたところ、地域の40人程の客に売りさばっていたとの事。またこの日、同じ Montbrison 市で外国から戻ってきた男も大麻所持の疑惑で自宅にて逮捕され、この男の自宅からは大麻草を栽培する道具などが発見され、密売をしていることを認めた。この男はリヨン近郊の Vénissieux 市から定期的に400～800€相当の大麻樹脂棒を仕入れて消費していたとのことで、購入していた客7人が裁判所に召喚されている。

2月11日、リヨン市第3区 Servient 通りにある裁判所に、リヨン大審裁判所長宛として靴箱サイズの怪しい荷物が届けられた。差出人の記載が無く、危険マークがかかれていたために金属探知機をかざしたところ反応があり、念のために裁判所入り口が一時閉鎖され、爆弾除去班と消防隊が現場に駆けつけた。爆弾処理班がスキャンをしたところ、荷物の中には爆弾も疑わしい粉末も無く、ただ書類が入っているだけであった。

2月12日、ドローム県 Chantemerle-les-Blés 市の一軒家の中で、帰宅した父親が部屋の中で13歳の息子が手足を縛って首を吊っている姿を発見した。救急車をすぐに呼んだが既に死亡していたとのこと。死因については現在調査中だが、何かの遊びをしているうちに誤って首を吊ってしまった疑いが高いとの事。

2月12日午後7時頃、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅内でテロ防止のためにパトロールしていた軍隊が、怪しいスーツケースがあるのを発見し、直ちに進入規制され旅行者などが遠ざけられた。15分後にはすぐに安全であることが確認され、鉄道交通には支障がでなかった。

2月13日と14日、リヨン市第9区にある Victor-Schoelcher 中学の教師と職員達は、最近頻繁に発生している盗難事件を世間に知らしめ、生徒の保護者も巻き込んで問題解決につとめられるよう、授業をボイコットした。

教師団の話によると、この中学では最近空き巣や侵入事件が何度も繰り返されているとの事で、11日には生徒たちのドイツ修学旅行への資金集めの為の食事会のあとに侵入盗難事件が発生した。その前の週末には、中学の校舎内に何者かが侵入し、ローカーなどを壊して、パソコン画面を数台盗んでいった。いくつかの教室のドアや内部の家具なども壊されていた。1月初めにも似たような事件があったとのこと。

2月17日、ローヌ県 Tarare 市 la Plata 学校で、週末の間に学校の外壁に、反ユダヤ主義のタグ（いたずら書き）が10か所書かれていた。学校側ではすぐにこれらを消して学校内で会議を開催し、中学の建物の持ち主である県議会と学校の校長は、警察に被害届を提出した。ローヌ県の教育委員会によると、こういったいたずら書きは現在まで前例がないとのこと。共和国の学校の壁にこのような行為はあってはいけないことで告発すると、教育委員会の責任者は語っている。

2月17日午後、リヨン市第2区 Rambaud 河岸で、パトロール中の警察が23歳のアルバニア国籍の男を逮捕した。この男は昨年12月以来、32歳の女性に売春を強制し、他の売春婦なども脅迫していた疑いがある。

2月18日午後8時から10時半までの間、リヨン市第7区 Gerland 地区で30人の警察による売春防犯作戦が執り行われた。合計47人と24台の車がコントロールされ、15件の違法行為、無免許運転などが取締され、15台のライトバントラックなどは、違法駐車ということでレッカー車で移動させられた。また、2月25日にも同様の取締が行われ、10台のライトバンが移動され、違法滞在の違反などが20件みられた。

2月19日、リヨン市第3区 Lacassagne 通りに在住の Dominique GAGNANT 56歳に対して、詐欺罪、強要罪、不法労働、売春斡旋重罪で禁固刑3年の有罪判決が下された。2009年から警察が調査を始めて、Irigny 市、Brignais 市、Chaponost 市などの電柱などに貼られていた SM 愛人広告シールの電話番号から、「Délivrance」という協会の名で仕事をしている男が浮かび上がった。この男は、神から与えられた才能を持つとうたって、ヒーラー、エクソシスト、国際シャーマン、魔法使い、魂の渡し守などの名で無申告活動し、移動せずに電話のみで対応して、平均一回50€の手数料を徴収していた。また自宅では、同居していた若い女性に SM 愛人のサービスをさせて、一回300€の料金の一部を搾取していた。家宅捜査したところ、電話線10本が設置しており、その半分はヒーラー、半分は SM 愛人の専用線となっており、過去1か月半の間に、約11000回の受信をしていることが判明、また、複数の銀行口座の他、タンスの中に現金182000€そのほかに、金庫の中にも現金110000€が見つかった。

2月21日午前6時頃、リヨン市第4区 Croix-Rousse 地区で夜遊びした19歳の学生2人組が、帰宅途中の通り道で、35台の車のサイドミラーを破壊したり、ひっかき傷をつけたり、道路のごみ箱を蹴飛ばし、スクーターを倒したり、自転車のタイヤを盗んだりと破損行為を連続した為に逮捕された。

2月21日、Villeurbanne 市 Racine 通りで、駐車してある自分の車が少年2人によって開けられようとしているところをアパートの窓から見かけた若い夫婦が、盗もうとしていると思ったために声をかけたところ、2人の少年は逃げて行った。翌日この少年の1人が警察に出向き、前日誘拐されそうになったといかにも事実だったように供述したため、警察は当初この少年の話信じて、ただちに夫婦は逮捕、身柄拘束された。この後、話の食い違いを14歳の少年達はうまく説明できず

に、結局虚実の訴えだったことを白状した。彼らは路上で車の鍵をみつけたために、どの車の物かを探していたとの事。

2月24日、Saint-Priest 市にあるスーパーAuchan で、40歳の男が買い物かごの中に携帯電話を隠して、女性買い物客の足元に置き、スカートの中などを映像にしていたために逮捕された。

リヨン市第1区 la montée de la Grande Côte 通りの住民は、日常的に麻薬密売人が建物の内外でたむろし、彼らが喫煙、飲酒などして通行人に迷惑をかける事が多く、最近では特に状況が悪化してきていると警察に訴えている。ある住民は、建物のホールの天井裏に麻薬商品を隠している若者たちを見かけたために注意したところ、殺すと脅迫された。1区役所では Leynaud 通りとの交差点近くに監視カメラを設置したが、カメラの見えないところに移動して密売活動は続けられているらしい。警察では、麻薬密売人を見かけたら、警察緊急通報用電話「17」に通報していと市民に呼びかけている。

2月24日、リヨン市第2区にある改装中のホテルの工事現場に、労働管理官がコントロールに入ったところ、アルバニア国籍の亡命希望者4人が、違法に働いていたため、この4人の雇用者である Villeurbanne 市にある会社社長が身柄拘束となった。

2月25日、リヨン市第7区 Guillotière 地区の Marseille 通り、Montesquieu 通りなどの建物の壁に、警察を侮辱する落書きがいくつも書かれているのが発見された。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

タクシーの運転手がデモ

運転手付観光車両 VTC(Voitures de tourisme avec chauffeur) は不当な競合相手として、その優遇されている登録システムなどを改定するよう政府側に求めるため、2月12日、リヨ市内 Part-Dieu 地区から Ecully 市、そして St Exupéry 空港まで、個人タクシーの運転手達がデモ行列を行った。パリではすでに3日前からデモを行っているが、リヨンではタクシー運転手労働組合の呼びかけに約100台のタクシーがデモに参加して、空港などのアクセスを一時期ブロックした。タクシーの資格登録には200000€以上の登録費が必要だが、VTC なる場合には100€で簡単に登録ができ、通常は予約した客のみが対象のはずが、流れの客を取るケースが散見されるとのことで、タクシー運転手達は、このシステムの改正を求めている。不況もあり、タクシー運転手の売り上げは最近30%減少しているとのこと。このデモにより、政府はVTC車登録委員会を延期し、協議が終了するまでVTC車の新登録を一時的に停止することを決定した。

リヨン南病院で耐性細菌感染

昨年12月末から、LYON-SUD 病院では抗生物質に耐性を持つ細菌(ERV)に感染した患者が15名に達した。この菌は、空気感染ではなく接触感染して感染するが、同じ院内で感染してからも、感染が判明するまでに時間がかかるとのこと、そして血液検査で3度陰性とでなければ、患者と接触した人達も感染していないかを明確に判断できないため、感染患者とコンタクトのあった院内同じ内科の約400名のうち現在も約200人が検査を受け続けているとのこと。病院内ではこれ以上菌が広がらないように早急に対策をとり、衛生措置などが強化されているとのこと。

自転車パーキングが新設

リヨン市駐車場会社 Lyon Parc Auto では、2月13日に Célestins 広場の駐車場地下一階部分に、自転車専用駐車場55台分を開設した。この駐輪場は会員契約をして使用するもので、普段から頻繁に出入りする自転車に限られている。入り口ドアは会員専用のバッチを持っていないと開閉できず、内部には、ヘルメットや雨具などをいれることができ、電気自転車バッテリーや携帯電話、パソコンなどを充電もできる電気コンセントが中についている、鍵のかかる個人用ロッカーも用意されているとのこと。置きっぱなしになっている自転車に対しては駐車場会社から連絡が入るため、一年に数度しか使わないマウンテンバイクなどを保管する場所ではなく、頻繁に自転車を使用する人が対象となっている。リヨ市内の10か所の駐車場でも同様のサービスが開始し、合計566台分の駐車場ができることになる。この年間使用料は35ユーロ。申し込みは直接希望する駐車場にすると手続きができる。

また、TCLの二か所の駅にも、TCL利用者専用の無料駐輪場ができた。Gare de Vaise (100台)、Gare d'Oullins (40台)。利用希望の場合には、ALLO TCL (Tel.04 26 10 12 12)に電話して Parc relais vélos を申し込む。

無銭乗車の男が地下鉄トンネル内に逃亡

2月21日正午過ぎ、リヨン市地下鉄A線のFlachet駅で、乗車券コントロールを逃れるために逃げ出した男がトンネルの中に駆け込んでいったために、安全装置が作動して地下鉄への電流が切断された。このため、駅と駅間のトンネル内で止まってしまった車両を取り除き、高齢の女性や他の乗客を出口まで避難させるために消防隊が介入し、午後3時頃までA線の地下鉄は停止して、大混乱となった。逃げた男はつかまっておらず、現在捜索が続いている。

リヨン空港に観光案内スペース« Welcome »が開設

リヨン・サンテクジュペリー空港の中心部に、タブレットなどの設備が整った情報スペース « Welcome »が設置され、空港案内、ローヌアルプ地方やリヨンの観光情報や、市内までの交通(バスやRhônexpressトラム)の乗車券販売などが行われるようになった。リヨンを訪れる観光客に非常に便利な情報源となる。乗車券販売窓口は、午前8時45分から午後10時まで開いており、それ以外の時間は24時間体制の自動販売機を使用することが可能である。

リヨン南病院で放射性物質を含む医療器具が姿を消す

Lyon Sud 病院では、2月13日から18日の間に、放射線検査で使用する放射線源 Cobalt57 (2,5 méga-becquerels) が無くなっていることに気付いたとの事で、原子力安全局 (ASN) が情報を2月19日に発表した。原子力安全局によると、この検査で使用する放射線源は、通常の状態で一時的に付近にいるだけならば特に危険はないが、この放射線源を操作したりすることはしないように勧めている。この事件に関して、原子力安全局は、国際原子力事象評価尺度 (l'échelle INES) の1に該当する事例であると評価している。原子力安全局では Lyon Sud 病院に対して、今後の放射線源の管理改善と厳しい監視をもとめている。盗まれた可能性もありえるこの放射線源は、鉛筆が台にささっているような形の小さなものとのことで、万が一どこかで見かけた場合には、原子力安全局 (ASN)(tel.0800- 804-135) あるいは県庁(tel.04-72-61-60-60) に通報してほしいとのこと。

空き巣の被害 盗難品が取り戻せる?

リヨン警察署では、2月24日から28日までのあいだ、署のホールを使用して、東ヨーロッパからの窃盗団を逮捕した際に押収された盗難品 (大半が宝石) 約1500点を展示して、ローヌ県、ロワール県、イゼール県、アン県で空き巣にあった被害者約150名を招待して、盗難品の持ち主を探している。グルジア国籍、アルバニア国籍の窃盗団5組が、昨年11月から秋に結成された特

別警察捜査班に逮捕された。また、この週に持ち主がみつからなかった盗難品は、2-3週間後にネット上に公表される。www.avisderecherches.interieur.gouv.fr

アン県 Bugey 原子力発電所で問題発生

アン県 Bugey 原子力発電所で、2月27日午前11時頃、放射能探知警報機が反応したために61名の職員が避難した。念のために直ちに健康診断がおこなわれ、5人の職員が極少量(年間許容量20mSvの100分の1以下)の被曝をしていることが判明した。この原子力発電所では2月8日から燃料の一部分を再装填する作業とメンテナンスが行われている。発電所は、この直後午後14時30分から通常に動き出したとのこと。

TCL リヨン市交通、定期券であっても検札(検札機にかざす)をお忘れなく!

リヨン市内で、通勤途中の男性が、地下鉄が故障したために急いでトラムに乗り換えて、トラム発車後にカバンをおいて定期券を取り出し検札機にかざそうとしていたところ、TCL 乗車券検査官からのコントロールを受け、有効に検札していなかったために5€の罰金を課せられた。プログレ紙がTCL 側に問い合わせたところ、今回の乗車券検査官が、この日の地下鉄故障事故を配慮せず、厳格に対応しすぎたこともあるが、本来発車する前に検札していない場合、正当な理由が説明できなければ罰金5€が課せられるので注意したい。

ローヌ県内で、交通事故の被害者減少

ローヌ県警によると、2013年のローヌ県内での交通事故による死亡者数は37名で、2012年の53名、2011年の68名と年々減少しており、2009年に比較すると、51.95%の減少となっている。また、重傷者の数も2012年の462名に比べて2013年には435名と減少傾向の良い数字がでている。ただし、2014年に入って、一月だけで3名の死亡者がでていることもあり、交通安全のためには、油断は大敵である。